

上に出ると、農業用水の取水口である。ここまで流れてきた水のほとんど全てを右岸の水路に流しこんでいる。左岸へももう1本人工水路があって、余分の水を下の人家と離れたところへ流し出すようになっている。

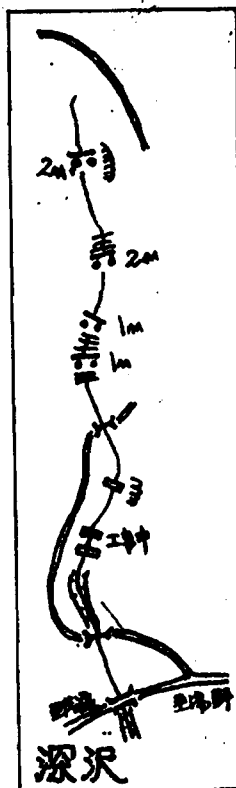
ここから天王寺沼までは細い流れが続くだけで、特にどうという所もない。右岸にはずっと跡跡もついている。

【タイム】 出合(12:55)→天王寺沼(13:10)

## 深 沢

1983年9月17日

国道399号線にかかる橋の所からいったん沢に降りてみた。水はこのあたりではコンクリートで固められた人工の流路を流れ下るようになっている。この階段状に



固められた人工の流路というやつは、遡ろうという者にとって、大変な障害の連続する所である。堰堤の高さは2mと少々あるので、左右の石垣に十分なスタンスが得られないと、とてもじゃないが越えられないのである。それでも3つほどの堰堤を越えてみたが、諦めて、沢ぞいにのびる林道をたどり、3つ目の砂防ダムを越えた所で再び沢に戻る。

10:10林道の橋をくぐる。しばらくすると、ナメが出てきた。初めから、この沢はダメだろうと思っけていても、やはり何か変化あるものが出てくるのではないかと、いつもあわい期待をだいて登っているものである。この沢も、ここでナメが出てきたことで、「もしや」と勇みだったが、あとが続かなかった。

11:35小滝2mを直登した所で水は濁れてしまった。そこから少し登ると、農道に出たので、遡行終了とする。10:45。

(記

【タイム】 出合(9:50)→遡行終了(10:45)